学校番号	1205

令和８年度　デュアル科

教科	デュアル	科目	(学)手話・点字	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	・改訂３版　手話技能検定公式テキスト５・６・７級（日本能率協会マネジメントセンター） ・プリント教材（担当者作成）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・手話は言語です。外国語の授業と同じように、たくさん表現することで理解が深まります。手を動かすことで、表現を覚えられます。授業中は恥ずかしがらず、たくさん手を動かして下さい。
・点字は手話同様、ルールがたくさんあります。これらを正しくしっかり覚えると理解が深まります。難しいように感じるかもしれませんが、ローマ字と同じような構造をしています。毎回の授業で少しずつ覚えていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
手話や点字についての基礎的な知識・技術を習得し、手話技能検定に合格できる知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
手話や点字の基本的な仕組みを理解し、学習課題にその学びをどのように活用できるか、思考や判断する力、そして、それらを表現できる力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
授業に積極的に参加し、意欲的に取り組む。また、取り組みの成果物で表現する。さらに、学びを今後の生活においてどのように活かしていけるのか、障がい福祉の諸課題に対して主体的に向き合おう姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基礎的な手話の知識を持ち、実際に表現を表したり、表現を読み取ったりすることができる。 ・基礎的な点字の知識を持ち、実際に文章を打ったり読んだりすることができる。	学習した内容を用いて、手話表現や点字表現で自らの考えや思いを正しく表現することができる。また、表現された手話表現や点字表現を自らの力で正しく他者に表現しなおすことができる。	授業に積極的に参加し、授業内の課題に意欲的に取り組むことができる。また、わからない表現は質問する姿勢や理解できるまで繰り返し練習する姿勢を通し、取り組みの成果として表現することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	手話の基礎	・基礎的な手話の知識 ・社会の中の手話 ・基本的な手話単語	a:基礎的な手話の知識を持ち、指文字の形を理解している。 b:基礎的な手話や指文字を用いて、自分の伝えたいことを表現する能力を身につけている。 c:手話に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上をめざす態度を身につけている。	確認テスト プリント 課題	プリント 課題	観察 課題取組
2学期	手話について学ぶ	・手話会話 ・視覚教材を使用した実践的な読み取り	a:基礎的な手話の知識を持ち、基本的な手話の文法を理解している。 b:基礎的な手話表現を用いて、手話での会話をする能力を身につけている。 c:手話に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上をめざす態度を身につけている。	確認テスト プリント 課題	プリント 課題	観察 課題取組
3学期	点字の基礎	・基礎的な点字の知識 ・点訳、墨字訳	a:基礎的な点字の知識を持ち、点字で日本語の文章を打つための方法を理解している。 b:点字を使い、漢字かな交じり文を点訳する能力を身につけている。 c:点字に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上をめざす態度を身につけている。	確認テスト プリント 課題	プリント 課題	観察 課題取組

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度